

要求実現！ 身延線電車のトイレ使用停止解消！

台風15号による災害で、身延線は富士～西富士宮（現在では内船）間と、身延～甲府間で折返し運転を行っています。災害以降、身延～甲府間を運転する列車について、トイレが使用停止となっており、そのため乗客からの苦情が絶えませんでした。11月10日、本部は台風15号による身延線の被害等に関する申し入れ（申第14号）についての業務委員会を開催した際、富士運輸区分会からの要求であったトイレの問題について、粘り強く交渉を行い、改善を求めました。静岡地本も業務委員会で強く主張し改善を求めました。

その結果、11月15日からトイレ使用停止が解消されました。まさに、J R 東海 労の要求が実現したのです。これからも、J R 東海 労は職場の問題を解決するために奮闘します。

『業務速報』No.781より抜粋

組合：身延駅～甲府駅間の折返し運転で使用している車両のトイレが使用停止となっている。旅客からの苦情が相次いでいる。汚物処理の問題だと思うが、列車内のトイレを使用できるようにすること。

会社：細かいことは確認していないが、できるだけ早く元の状態に戻そうとは努力している。

組合：短時間なら我慢もできるが、長時間に渡っている。お客様の立場に立つべきだ。

会社：その状態をよしとしてはいない。できることは努力しているが、細かな状況は把握していない。

組合：方法として、J R 東日本の設備を借りるなど、汚物処理のできる場所に回送列車として運転することで、処理をすることができるはずだ。

会社：時間もコストもかかる。現実的ではない。やれることをやる。

組合：バキュームカーを使うとか、何らかの対策を取るべきだ。

会社：意見は聞いておく。

本部・地本が一体となり粘り強く交渉！
職場の問題点をぶつけるのがJ R 東海 労